



11/22

## 貴重な水、争いから和解の歴史

### 水争いの顛末を記す「巻物」の引継ぎ式（下助測集落開発センター）



▲3メートルを超える巻物に見入る3集落の役員

神林地域の山屋・上助測・下助測の3集落で200年間管理している巻物「済口証文」などの引継ぎ式が行われました。

文化3年（1806）に、神林地域3集落を含む門前川流域の19集落が、関川村女川郷12集落から「女川の藤沢川から掘割を作り勝手に門前川に水を引き入れている」と訴えられ、江戸の評定所の吟味を受けるほどの大事件となりました。この「済口証文」は、翌年に和解の証しとして作成されたものです。

今回、下助測集落から引き継いだ上助測集落の八藤後清区長は、「3集落持ち回りで3年毎に行う引継ぎ式を通して、水不足で苦勞した証しであるこの巻物に多くの人から関心をもっていただきたい」と話していました。

11/25

## 繰り返し参加して身に付けよう

### AED講習会（山北総合体育館）

山北地域内のジュニアスポーツ指導者や保護者などを対象に、AED講習会が開催されました。

主催はさんぽくスポーツ協会で、消防署の職員の指導により、AEDの使い方と胸骨圧迫のやり方、けがをした時の応急処置について実践形式で学ぶ機会となりました。

講習会は、昼と夜の2回に分けて開催され、男女合わせて18人が参加。参加した山北地域在住の30歳代男性は、「自分ではできると思っていたことが、実はできていなかった。何度も参加して身に付ける必要があると思った。」と語っていました。



▲胸骨圧迫は、速く、強く、絶え間なく行うことが重要

11/27

## 初冬の風物詩、軒下に並ぶ塩引き鮭

### 越後村上鮭塩引き街道（庄内町、小町）



▲児童生徒の自信作も吊るされました

12月1日(火)から20日(日)まで行われた「越後村上鮭塩引き街道」。このイベントの準備として、市内の小中学生が塩引き鮭の吊り下げ作業のお手伝いに来てくれました。

作業を手伝ってくれたのは、村上南小学校の4年生6人と村上東中学校の2年生3人。屋根の上にいる大人に塩引き鮭を手渡す作業を行いました。

吊り下げられたこの塩引き鮭は、市内の小中学生が村上の鮭文化・塩引き鮭づくりを体験することを目的に、自分たちで作ったものです。期間中、村上の冬の風物詩「鮭塩引き街道」を一目見ようとする人々でにぎわいを見せました。

11/28

## 荒川中学校3年生の地域貢献活動

### みんなが主役プロジェクト「荒島ミニマルシェ」（つどい場「あら、ほっ」）

荒川中学校3年生は「SDGs×地域貢献」をテーマとした「みんなが主役プロジェクト」に取り組んできました。

コロナ禍の中、中学生という立場で「地域に対して何ができるか」と話し合いながら生み出した18のテーマ。そのテーマに共感する地域の事業者やまちづくり協議会が参画し、ヒト・カネ・チエを提供してテーマを実現しました。

荒島ミニマルシェでは、地域食材を使った駅弁や総菜、スイーツ、エコバッグの販売や、地域資源を活用したハンドメイドアクセサリーの体験教室などを実施。訪れた地域の皆さんと交流し、たくさんの笑顔を見ることができました。



▲地域食材を活用した駅弁や総菜の販売

11/28

**村上総合病院と連携した2施設が開所****村上市救急ワークステーション、むらかみ病児保育センター開所式（緑町五丁目）**

村上総合病院に併設した2つの施設が竣工し、関係者出席のもと、開所式が行われました。

「救急ワークステーション」は、高規格救急車1台を配備し、村上地域からの119番通報の救急要請に対応します。村上総合病院と連携しながら救急救命士の知識と技術の向上を図るほか、大規模災害では村上総合病院の医師などと共に災害現場に出動し、医療と消防が連携した活動を行います。

また、「むらかみ病児保育センター」は、子育てと就労の両立を支援する施設として開所しました。保育士と看護師が、看病が必要だけど仕事を休めないお父さん、お母さんのお子さんを、安全にお預かりします。



▲開所式で行われたテープカット

11/29

**在宅医療を分かりやすく演劇で****令和2年度在宅医療普及講演会（市民ふれあいセンター）**

▲関係者による演劇のワンシーン

在宅医療普及講演会が開催され、第1部では、市内の医師や医療、介護、行政などの関係者による演劇が行われました。余命宣告された際にどのように自分が最後を迎えたいか、主人公がゲームをきっかけに、心を整理し受け入れて行く様子をわかりやすく演じました。

第2部では、日本におけるホスピス医の草分けである山梨県甲府市ふじ内科クリニック院長、内藤いづみ先生から、担当をした者が人生の最後をどのように迎えたかについて、さまざまな物語を優しい語り掛けで講演していただきました。急きょ、オンラインによる講演でしたが、「村上に行きたかった」と先生からお話があるなど、和やかな講演会となりました。

12/1

**消費拡大のため村上茶の良さを伝える****村上南小学校3年生45人による村上茶PR活動（ウオロク村上東店）**

総合学習で村上茶の消費が減少していることを知った児童が、スーパーを訪れたお客さんに村上茶の良さをPRしました。

児童はこれまで、村上茶の効能を調べたり、お茶に合うお菓子を考え、自分たちで作って食べてみたりしてきました。校内ではポスターを貼ったり、給食時に呼びかけたり、保護者向けにお便りを作成し配布もしてきましたが、今回はより多くの人に知ってもらうための校外活動として計画されました。

積極的に声をかけていた大滝纏（てんは）くんは「3人に村上茶をPRできました。一生懸命説明したら『いつも飲んでるよ』と答えてくれました」と、嬉しそうに話してくれました。



▲児童の熱意にお客さんも答えてくれました

12/9

**生徒自作の英語教材をプレゼント****村上中等教育学校から朝日みどり小学校へ（朝日地域）**

▲先輩からのプレゼントに児童も興味津々

今年で17回目となる村上中等教育学校生徒による朝日みどり小学校児童への英語授業が行われました。

例年であれば、直接生徒が児童へ授業を行っていましたが、昨今の情勢を踏まえ、各学年に合わせた内容で英語教材を製作し、児童へ手渡しました。DVD教材は30分間で、基礎編と応用編の2回分。授業用の小道具まで丁寧に作られた教材は、児童への思いやりがにじんでいました。

9月から準備し、直接児童に手渡した中学3年生の生徒は、「緊張した。画面越しの児童の反応を想像しながら動画を作るのに苦労したが、喜んで受け取ってもらえて良かった」と安堵していました。